

サイ波動薬 通信

www.vibrionics.org

病める人、打ちしおれた人、落胆した人、疾患に苦しむ人がいれば、まさにそこにあなたの奉仕の場があります・・・シュリサティアサイババ

第2巻 第6号

2011年11月

アガルヴァル博士の研究デスクより

サイ波動薬実践者の皆様

本日ババの御降誕祭の日に、新しいウェブサイトがついに完成し稼働しましたことを大いなる喜びと高揚感を持ってここに謹んでご報告申し上げます。(www.vibrionics.org)

もうすでにお手元に、ユーザー名とパスワードが届いているかと思しますのでそれらを用いてログインをしていただきご覧ください。提案やコメント、賛同の言葉などあらゆるご感想をお待ちしています。みなさまからの様々なご意見の御蔭をもって、全ての実践者の方々にとってこのサイトがより有益で使いやすく、様々な情報が得られるようなものとなります。さらには波動薬に関する体験、特筆すべき個別事例、その他波動薬関連の情報や問い合わせなどを分かち合う場としてご活用ください。スワミの限りない恩寵により、この波動薬がいかに効果的に作用するかはもうご存じの通りです。この癒しのシステムが共通の電子脳としてインターネットが届く地球のあらゆる場所で活用される時期が到来しました。

もう一点ご報告すべき重要なことはインドにおける新しい事務局体制が発足したことです。インドにおける実践者のみなさんは（どこでセミナー訓練を受講されたかにかかわらず）今後、月次レポートをお住まいの州の下記メールアドレスまでお送りくださいますようお願いいたします。月刊レポートは当該アドレス以外に送られる必要はなく、下記記載のアドレスのみで結構です。その際には添付資料としてではなく、メールの本文テキストとして送付ください。

月刊レポートの送付先

インド国内

AP..... ap@in.vibrionics.org	Karnataka..... kar@in.vibrionics.org
Assam..... assam@in.vibrionics.org	Kerala..... ker@in.vibrionics.org
Delhi-NCR..... delhi@in.vibrionics.org	Maharashtra & Goa.... maha@in.vibrionics.org
Gujarat..... guj@in.vibrionics.org	Rajasthan..... raj@in.vibrionics.org
Haryana..... har@in.vibrionics.org	Sikkim..... sik@in.vibrionics.org
J & K..... jnk@in.vibrionics.org	UP & UK..... upuk@in.vibrionics.org

インド国内その他地区.....monthlyReports@in.vibrionics.org

インド以外の国

イタリア.....monthlyReports@it.vibrionics.org

ポーランド.....monthlyReports@pl.vibrionics.org

上記以外の国.....monthlyReports@vibrionics.org

レポート送付形式

送付月 _____

名前: _____ 登録番号: _____

当月の奉仕の時間: _____

当月の患者数: 旧 ____ + 新 ____ + 動物 ____ + 植物 ____

特記事項 (もしあれば: _____)

また、みなさんから送付していただくメールの個別内容項目については下記の通り固有のメールアドレスを作成いたしました。混乱を避け迅速な処理のためにもそれぞれの項目に応じたアドレスまで送付いただきたいと思います。

個別症例：この症例として送付いただくのはレメディの服用結果が顕著なものに限られます。紹介にあたっては症状の期間及び、服用してからの時系列的な改善の割合をもご記入ください。皮膚疾患のケースでは、服用前後の患部の適切な写真を添付されることで情報価値が高まります。また、医師の診断もご記入ください。インド国内の実践者の方は caseHistories@in.vibrionics.org まで、また、インド以外の国の方々は caseHistories@vibrionics.org までよろしくお願いいたします。

ウェブサイトでも個別症例のセクションを設け事例集としての積み上げを行っています。もし、みなさんの中でサイトに載せたいような治癒事例がありましたら上記メールアドレスまでお送りください。

症状に関するお問い合わせ：インド国内の場合 comboQueries@in.vibrionics.org まで、インド以外の国 comboQueries@vibrionics.org までご連絡ください。献身的な承りチームが患者さんの症状、レメディやコンボについての情報を提供いたします。

実践者情報：(患者さんの住所に近い実践者の紹介など) 世界中の実践者のアドレスについても、インド国内では healerInfo@in.vibrionics.org まで、インド以外の国では healerInfo@vibrionics.org までお問い合わせください。

以上のアドレスへのご連絡につきましては、これまで通り全てのメールの主題タイトルの中に、みなさんの登録番号を付記していただきますようよろしくお願いいたします。現在4000人以上の実践者(さらに今増加中です!)の方からの迅速なご返答ならびに送付者識別作業の簡素化のため今後将来的には、(登録番号の付されていない)匿名のメールに対処できなくなる可能性があります。

最近、ポーランドのソボトカでポーランド人実践者の相互啓発セミナーが行われました(写真参照)。この2日間のセミナーでは参加者からの素晴らしいフィードバックが得られました。ポーランド全土から60人以上の参加があり、それぞれの体験が分かち合われました。その中には、次号以降の通信に掲載し、みなさんにお伝えしたいような内容のものもあります。こうした相互啓発セミナーは情報交換の場としてもまた相互啓発の場としても有益です。みなさんの地域でセミナーの開催が望まれるようであればこちらにご連絡いただければ、開催実現への調整をこちらで行うことが可能です。

最後になりますが、小さなお願いがあります。1994年より波動薬の活動が続けられていますが、公式名称が「波動薬」から創設者であられるバガヴァンシュリサティアサイババ様の御名を冠する「サイ波動薬」へと2011年より変更となりました。私たちはスワミの愛、恩寵、御導き、さらには我々が無私の奉仕を受けて下さる人々への癒しに対し未来永劫に亘って感謝

し続けることとなります。スワミ、私たちが主の道具として選んで下さり本当にありがとうございます。

サイの愛の奉仕の中で
アガルヴァル ジット



🌀コンボを使った処方例🌀

最初の3つの事例は夫婦で一つのチームとして奉仕活動が続けられる実践者からのものです。プラシヤンティニラヤムのアシュラム内スーパーマーケット近くの屋外スペースにて、助けを必要とする人に絶えず手を差し伸べているお二人の姿が見られます。

1. 慢性的高熱症（インド、プラシヤンティニラヤム）

過去14年間を通しアルゼンチン出身の34歳の女性が喉の痛みや気管支炎、高熱等、風邪に

共通した症状を患っていました。彼女は多くの医者にかかりましたが、血液検査を含め様々な検査を受けても明確な診断は下されませんでした。

患者さんから話を聞いてみると、彼女が20歳の時ボーイフレンドが極めて悪性のマラリアに罹り、病院で3日間彼を看病していたことがわかりました。実は、その時以来高熱を患うようになったのですが、当時マラリアの検査を受けても陰性の診査結果しか出なかったのです。実践者の推測するところによれば、彼女はとても感情的な性格の持ち主で、多くのマラリア患者のいた病室で自らの愛する人を看病するという状況の中でストレスや恐怖を体験した結果この病状の波動が彼女のアストラル（感情）体・エーテル（エネルギー）体に転写されたのではないかと、ということでした。この自らの理論を試すために、以下のレメディが処方されました。

CC9.2 Infections acute + CC9.3 Tropical diseases...TDS

CC9.2 の処方 は 長期間患っている風邪と熱の症状に対するもので、CC9.3 はマラリアに対する全てのレメディがその中に含まれているため、この2つのレメディで症状の根本的治癒が期待されました。

3日間の服用後、強力な浄化作用が激しいおう吐という形で現れました。1週間後、彼女は故郷のアルゼンチンに帰国しました。2週間後、彼女からの電子メールが届き、そこには治療のお礼とそれまで長年患っていた高熱の症状が完全に消え去り、今は全くの健康状態であることがしたためられていました。

+++++

2. 右すねの骨髄炎（インド、プラシャンティニラヤム）

アゼルバイジャンからの59歳の女性が右すねの骨髄炎（通常は感染によって生じる、骨や髄の炎症）を患い、痛みが続いていました。本件では患部（すね）は青みがかった灰色で中央には壊死したような斑点がありました。骨の内側に沿って3つのフィステル（異常導管）があり、そこから膿がにじみ出ているのが見られました。曲がった足指への血液の循環はとても悪く、歩行にはかなりの痛みを伴いました。

この病状の過去の経緯は以下の通りです：彼女は幼少時、孤児院で育てられそこでの扱いが極めてひどくとても不幸に感じていました。10歳の時、彼女は高い所から飛びおりて、右足をひどく損傷してしまいました。手術によって治療を試みましたが、ジストロフィーを誘発するのみで、すねの筋肉は衰弱していくのでした。こうした病状に対する対症療法の医師の診断は灰白髄炎（小児麻痺）というものでした。30歳の時、止むことのない脚の痛みを和らげたいという一心で対症療法の治療および手術を受けましたが、何らの改善もみられず、医師の診断も変更され骨髄炎となりました。この5年後、波動薬に出会うまで、病状はさらに悪化し、医師は脚の切断を勧めていたのでした。

以下のレメディが処方されました。

#1. CC15.1 Mental & Emotional tonic + CC18.1 Brain & Memory tonic....TDS

#2. CC20.6 Osteoporosis.....6TD

3週間後、痛みを全く感じることなく彼女は歩行が可能となりましたが、つま先にはいまだに痛みがありましたので、#2のレメディが以下のものに変更となりました。

#3. CC20.3 Arthritis + CC20.4 Muscles & Supportive tissue + CC20.6 Osteoporosis.....TDS

#4. CC21.11 Wounds & Abrasions....TDS(膿の出ている足の患部への湿布薬としてオイルで作製)

3週間後、患部の色が通常に戻りましたが、まだ膿が少し出ていたので、以下のレメディが加えられました。

#5. 異常導管からの膿のノーソード....6TD

2か月後、すねの色は通常に戻ったままで、3つの異常導管のうち2つ導管は治り、もう一つからは膿は出ていませんでしたが、無色の液体の涌出が若干見られました。その後は#3と#5を継続して服用されました。この時点で患者さんは長年患った症状の大幅な変容を体験してアシュラムをととても幸せな気分になりました。

+++++

3. 慢性の風邪 (インド、プラシャンティニラヤム)

47歳のロシア人女性が頭痛と身体のだるさを何カ月も患っていて、以下のレメディが服用されました。

CC9.2 Infection acute + CC9.3 Tropical diseasesTDS

3日後、風邪の症状は良くなりましたが頭痛と他の症状はそのままでした。詳細な問診の後、患者さんの口から、1年半前に夫と2人で自動車事故に会ったことが語られました。彼らの車は大破しましたが、夫婦2人ともケガが無かったということでした。その時以来、この症状が続いていることもあり、患者さんは無意識のうちにこの事故のショックで心的外傷を負っていることが推測されました。そこで以下のレメディが追加されました。

CC15.1 Mental & Emotional tonic + CC18.1 Brain & Memory tonic....TDS

3分後、彼女は無意識に陥り、10分後に徐々に意識を回復しました。彼女は全身の力が抜けている状況でしたが、夫の助けを借りて、アシュラムの部屋まで戻ることができました。翌日、彼女は実践者を再訪し、1年半前の事故以来患っていた慢性の風邪とその他の症状がすっかり治ったことを報告したのでした。

+++++

サイラムヒーリング波動転写マシンを用いた個別症例をもっと掲載してほしい旨のリクエストがこれまで多く寄せられてきましたが、その一部をここで御紹介いたします。マシンを用いて奉仕活動を行っている方々には興味深い事例のウェブサイトへの掲載のためご送付お願いいたします。

4. 眼球へのトラウマ (米国)

62歳の女性が誤って眼鏡の端で左目をつついてしまい、眼球血管が破裂し、赤褐色となった眼球にはひりひりする痛みがありました。このため彼女(彼女の言葉を借りるなら、子供たちを怖がらせたくなかった)はサングラスをかけなければなりません。かかりつけの医師からは痛み止めと抗生剤が処方され、3、4週間で眼球の色は元に戻ると言われました。しかしながら、その3日後、抗生剤の副作用を避けるため、また、回復まで3週間も待つことができなかつたため彼女は波動薬に救いを求めました。

NM17 Eye + BR20 Eye + BR 21 Injury +SM41Uplift....TDS

3日後、眼球の色は通常に戻り視界も鮮明になりました。患者さんは1週間も経たないうちに治癒された左目が元通りになって感激しました。

108のコンボを用いる場合には次のレメディによって同じ効果が得られるでしょう。 **CC7.1 Eye tonic + CC7.6 Eye injury**

+++++

5. ホジキン病 (悪性リンパ腫) (クロアチア)

ホジキン病の対症療法を2年間受けていた65歳の女性。

NM6 Calming + NM59 Pain + NM63 Back up + NM110 Essiac + BR2 Blood Sugar + BR3

Depression + SM5 Peace & Love Alignment + SM13 Cancer + SM24 Glandular

+ SM40Throat... 2週間 6TD その後 TDS

2週間も経たないうちに、患者さんは心の平安を感じ始めました。その後4カ月間波動薬を継続して服用した結果、血液検査で陰性の結果が出て過去6年間患っていた癌から解放されたのでした。

108のコンボを用いる場合には次のレメディによって同じ効果が得られるでしょう。 **CC2.1 Cancers.**

+++++

6. 学習障害・学校不応答 (クロアチア)

10歳の女の子が学校の環境に合わず学習への興味も持てず、素行も良くありませんでした。以下のレメディが処方されました。

NM5 Brain tissue salts + NM104 Tops...TDS

1カ月後、彼女の母親から連絡が入り、学校の成績は全てA段階となり生活も落ち着いたとのことでした。担任の先生はこの子の変容に大変驚き、一体この子にどんなことをしたのか母親に問いただしたほどでした。

108のコンボを用いる場合には次のレメディによって同じ効果が得られるでしょう。 **CC17.3 Brain & Memory tonic.**

+++++

7. 腎臓感染症 (クロアチア)

28歳女性が腎炎を患い激しい痛みを抱えていました。この腎炎は細菌による感染及び膀胱炎を原因としたもので、彼女は苦痛を伴う頻尿に苦しみ、以下のレメディが処方されました。

#1. NM21 KBS + BR11 Kidney...TDS

#2. SR296 Ignatia...一日一回

たったの一日で症状は快方に向かい、3日目には全ての症状が消え失せてしまいました。完治を確実にするため1カ月間、レメディの服用が続けられました。

108のコンボを用いる場合には次のレメディによって同じ効果が得られるでしょう。CC13.2 Kidney & Bladder infections.

健康に関するアドバイス

筋肉の痛み生姜を

インド及び中国で、吐き気・消化不良・お腹の張り（ガスがたまる）などに対する伝統的な治療薬として長年用いられてきた生姜が、運動のし過ぎによる筋肉の痛みや腫れを和らげる働きのあることが科学的にも証明されています。新しい研究によれば、毎日の生姜の摂取によって過酷な運動の後の痛みが和らげられることが分かりました。

ジョージア大学の研究員は毎日の生姜の摂取によって運動によって生ずる筋肉の痛みが抑制されるかどうかを調べました。34人の被験者からなる第一のグループでは精製されていない生のしょうが2グラムが入ったカプセルを服用しました。この量は健康食品店で売られている生のしょうがカプセル500ミリグラムに相当します。40人の被験者の第2のグループでは熱処理をしたしょうが2グラムを摂取しました。以前の研究では熱処理をした生姜が痛みを和らげる成分を増加させる可能性があることを示していたからです。3番目のグループはプラシーボ（実際にはしょうがの入っていないただのカプセル）を用いました。全てのグループで連続11日間カプセルを飲み続けました。筋肉の炎症や痛みを誘発するような極めて集中したウェイトトレーニングをカプセル摂取前の7日間及び摂取後3日間行いました。

11日間の生姜カプセル摂取の後、痛みの度合い・筋肉を動かすことのできる範囲・パワーの増加・炎症などの様々なチェック項目によって結果が測定されました。プラシーボを摂ったグループに比べ生の生姜カプセルを摂取したグループは痛みの減少度合いが25%で、熱処理をした生姜カプセルを摂取したグループは23%でした。

この研究を指導したパトリックオーコナー博士は、アスピリンやイブプロフェンのような非ステロイド系炎症抑制剤によく似た役割を生姜が果たしていると説明しています。また、生姜はこうした薬品とは異なり、炎症を生じさせる化学物質の生成を減少させ、神経周辺組織に見られる痛みの信号を受け取る受信器の感度を減じる役割も果たしています。オーコナー博士は更に、イブプロフェンやナプロキセン（鎮痛剤）を用いた同様のテストよりもより大きな鎮痛効果を参加者が体験しながらも、非ステロイド系炎症抑制剤によって誘発される胃のむかつきや潰瘍といった副作用を被らずに済んでいる、と述べています。これらの結果は2010年9月号のペイン（苦痛）ジャーナル誌に掲載されました。

もし、みなさんが長距離のハイキングや激しい運動を予定していて、こうした生姜の効能を試されたいのであれば、標準的な5%分生姜エキスを含むカプセルを購入され、運動する日の数日前から毎日1カプセルを服用してみてください。もし、生姜の味がお好みであれば生姜の粉をティースプーン一杯、もしくは生姜エキスをスプーン2分の1、あるいは、細かく刻んだ生の生姜をスプーン一杯摂られると良いでしょう。

なぜ髪は白くなるのか？

年をとると、なぜ白髪が増えるのか、白髪を防ぐ方法や白髪の進行を遅らせる方法があるのかどうか気にされたことはありませんか？ここでは、白髪の原因と白髪に影響を与えるいくつかの要因について見てみたいと思います。

最初に白髪を見つける年齢は（もし、あなたの髪が抜け落ちていないと仮定して）大まかに言って遺伝によります。両親や祖父母が髪に一筋の白い束を見つけた年齢近くにおそらくあなたもまた同じような状況に遭遇するのでしょう。しかしながら、白髪の増える進行度合いはどちらかという、あなたのケアの仕方でも遅らせることができるのです。喫煙は白髪を増やすことで知られています。貧血、栄養不良全般、ビタミンB不足、甲状腺の不調もまた白髪の進行を早めます。それでは、白髪の原因は何でしょう？それはメラニンと呼ばれる色素の生成を制御するプロセスに関係しています。このメラニンは日光に当たってシミができる時と同じ色素です。

全ての毛穴はメラニン細胞という色素細胞を含んでいます。この色素細胞は黒色・褐色の色素であるユーメラニン及び髪に含まれる主なたんぱく質であるケラチンを生成する細胞にメラニンを届ける赤茶けたフェオメラニンを創り出します。ケラチン生成細胞は死ぬ時メラニンからの色素を保持します。白髪ができる時、メラニン細胞はまだありますが、活動は低下します。髪の色素は減り、より白く見えるようになります。白髪が増えるにつれてメラニン細胞は次第に無くなっていきついには色素を生み出すもとが死滅してしまうのです。こうしたプロセスは老いに伴うもので、何ら病気とは無関係で避けられない通常のもので、ある免疫不全症によっても老齢に関係なく白髪が発生します。20代で全くの健康体であるにもかかわらず、白髪が出始める人もいます。また、一夜にして髪の色が変化するわけではありませんが、極度のショックやストレスもまた白髪の原因になりえます。

出典...Anne Marie Helmenstine, Ph.D. About.com

(質問コーナー)

質問 慢性の不眠症に悩む人にレメディを処方しても大丈夫でしょうか？ その場合、服用回数は一日3回もしくは就寝前だけでよろしいでしょうか？

回答 寝付きの悪い人には誰でも CC15.6 を処方することができます。慢性のケースでも、あるいは心配事があるって寝づらいというケースでも有効です。この種の問題に用いられる対症療法の薬と異なり、このレメディには習癖性というものがありません。通常、就寝30分前に服用し、それでも寝付きが悪いようであれば30分毎に計4回まで服用してもよいでしょう。途中夜中に目が覚めて、眠りに戻りづらい時は、更にもう1回服用することもよいでしょう。

サイラムヒーリング波動転写マシンをお使い場合には次の処方となります。

NM6 Calming + NM28 Sleep + SM5 Peace & Love Alignment + SM37 Sleep + SM39 Tension + SR275 Belladonna (30C) + SR303 Opium + SR306 Phosphorus (30C) + SR309 Pulsatilla (30C).

質問 風邪と高熱を患い、現在は回復したものの髪の多くが抜け落ちてしまいます。どのようなレメディがよいでしょうか？

回答 抜け毛には CC11.1 もしくは CC11.2 のレメディですが、急性の風邪直後あるいは体力が落ちているときの抜け毛の際には CC11.1 がよいでしょう。一方、慢性疾患や禿げ頭になるほどの状況下では、CC11.2 となります。病後にはこれらのレメディに加えて CC12.1 もまた併用するようにしてください。患者さんが貧血気味であれば CC3.1 もまた有効です。サイラムヒーリングマシンをお使いの場合には、NM2 Blood + NM12 Combination-12 + NM22 Liver + NM75 Debility + NM84 Hair Tonic + OM12 Hair + SM6 Stress + SM25 Hair + SM41 Uplift + SR264 Silicea + SR408 Secale Corn (30C). となります。

質問 患者さんの一人にアユールベーダの薬を服用している人がいます。波動薬を摂取し始めた場合、アユールベーダの薬は服用を中止すべきでしょうか？ ホメオパシーやアユールベーダの薬を服用している場合には波動薬と併用すべきでないと、ワークショップでアドバイスを受けたのですが。

回答 はい。併用せず服用中止した方がよいでしょう。一般的に言って、ホメオパシーやアユールベーダの薬と波動薬との併用は避けた方が無難です。しかしながら対症療法薬に関しては併用については全く問題ありません。更なる詳細については「波動薬実践者マニュアル」を参照してください。

質問 脳感染症を患う23歳の娘を持つサイの帰依者がいます。彼女は対症療法による治療を受け回復したのですが、現在、激しい頭痛を患っています。波動薬が求められているのですが、どのレメディがよいのでしょうか？

回答 CC11.4 Migraines + CC18.1 Brain & Emotional tonicには脳へ作用するレメディが多く含まれておりこの2つのコンボがよいでしょう。サイラムヒーリングマシーンをお使いの場合にはNM5Brain TS + NM6 Calming + NM44 Trigeminal Neuralgia + NM85 Headache-BP + OM13 Trigeminal +SR275 Belladonna (30C) + SR273 Aurum Met + SR295 Hypericum (30C) + SR359 Zincum Met +SR458 Brain Whole + SR468 CN5: Trigeminal の組み合わせとなります。

質問 私の主人は過去2回心臓発作を患い、また糖尿病も併発しています。波動薬としてCC3.1 Heart Tonic とCC6.3 Diabetes を処方していますが、CC3.4 も加えるべきでしょうか？ 2つ以上のコンボを同時に併用すべきでないとも聞いたことがあります。本ケースでは3つのコンボを同時に服用することになりますがよろしいでしょうか？ 私の主人は波動薬を信じておらず、水に溶かして服用させています。この服用の仕方でもよいのでしょうか？

回答 CC3.1 Heart tonicを継続して服用させてあげてください。CC3.4.に関しては緊急時のみ処方すべきです。CC6.3 Diabetesも継続してかまいませんが、血糖値を定期的にチェックすることを忘れないで下さい。このレメディを服用する糖尿病患者さんは多量のインシュリン摂取が不必要であることに気づくことがあるのです。経験豊富な実践者のみが一度に2つ以上のコンボを（加えて）処方することができます。それも当該病状がそれ（2つ以上のコンボが必要であること）を正当化できるケースに限られます。御主人がこの波動薬を信奉されないとしても、波動薬は確実に彼の症状を改善することでしょう。またあなたの揺るぎない信によって、その治癒も奇跡的なものとなりうるかもしれません。この波動薬はババ様に何度も祝福されたものであり、治癒そのものは究極的にはババ様が実現されており、毎日のように特筆すべき治癒が起こっていることを忘れないでください。

アガルヴァル先生への質問がありましたら、news@vibri onics.org まで御送り下さい。

治癒者の中の治癒者である神からの御言葉集

以下の3つのタイプの活動によって神に到達しあるいは神の恩寵を得ることができます：

- (1) 個人的な欲望によって心を動かされない者
- (2) 無私の愛を放射する者
- (3) 純粋なハートから祈りを捧げる者

これらの人々は直接神にまみえ神をハートに安置しています。人間の立場で祈りを含めなされることになされた後は様々な天使が管轄する領域となり、祈りの実現は彼らの手

に移ります。それゆえ、祈りは無私のもので愛に溢れ、祈りのもたらす結果に執着する心のシミが付いていないものでなければなりません。

・・・サティア サイババ 「今日の言葉」 2011年7月23日 プラシャンティニラヤム

エゴで一杯の人々は他に対して権力を行使しがります。彼らは一時的なものへの執着心と利己主義によって色付けられた眼鏡を通してあらゆる物事を見ます。「私の言っていることは本当だ。」「私の意見が正しい。」「私のやっていることに間違いはない。」こうした思いや言葉は霊性の道を熱願する者にとっては極めて有害なものです。熱願者はあらゆる所からの客観的な批判、提案、助言に対して心を開いて肯定的に向き合わなければなりません。また、熱願者は議論や討論を極力避ける必要があります。それらによってお互いの敵対心が生じ怒りや報復といった好ましくない状況をもたらされるからです。世間の尊敬を得ようと奮闘してはなりません。世間があなたやあなたのなしていることを認めなくても怒りを覚えたり、軽ろんじられていると感じてはなりません。霊性の道を熱心に歩みその成功を勝ち得たいと思うのなら、まず第一にこのことをしっかりと心に留め置きなさい。称賛を得ているその瞬間こそ気をつけなければなりません。浮かれてはなりません。あなたの霊的成長を阻み、あなたを横道に逸らすことすらあるような落とし穴がそこには潜在しているのです。

・・・サティア サイババ 「今日の言葉」 2011年10月28日 プラシャンティニラヤム

☞ お知らせ ☞

ワークショップ開催予定 (インド)

2011年11月26-27日 マハラシュトラ州ナグプールで上級波動薬実践者向けワークショップ。詳細はガートル博士 9637-899-113 もしくは 9423-424-126、B r. ラジャン ジョーシ 9422-548-910 宛。

2011年11月26-27日 ケララ州アルヴァで上級波動薬実践者ワークショップ。詳細は B r. M. パンカジャクシャン宛。

2011年12月17-18日 アナンタプール州シュリカラム 奉仕としての波動薬治療システムを学びたいと思われる初心者向けワークショップ。アナンタプール州セヴァダルコーデイナーター：シュリ R ラクシュマンラオ (Tel 9440-168 600, Email rlaxmanrao11@gmail.com) もしくは地区会長 G ラーマナバブ (9394-769 108)

Eメールアドレスが将来変わる方はできるだけ早くお知らせください。また波動薬実践者の方でこのニュースレターに興味を示されそうな方がおられましたら、news@vibrionics.org まで御連絡くださるようにお伝えください。また、本通信は患者さんへもお送りいただいてもかまいません。質問などは実践者のみなさんでそれぞれ対応されてください。またウェブサイト内コンボ質問コーナーイーメールアドレスもご覧下さい。御協力ありがとうございます。

ウェブサイト www.vibrionics.org もご覧ください
ジェイサイラム！

サイ波動薬・・・すぐ手の届く優秀な医療を目指して・・・無料の医療へ